

授業科目 健康栄養科学演習	科目概要・形式 2単位 60時間	配当年次 2年 前期
科目責任者	今 淳	
担当者	今 淳, 飯島 美夏, 佐藤 伸, 井澤 弘美	
1. 科目のねらい・目標		
健康栄養学科学特論で学んだことをもとに、健康と栄養の関わりについて、文献購読等から得られる最新研究情報を交え、演習をすすめる。		
2. 授業計画・内容		
【今 淳】		
1) 様々な細胞, 組織, 器官の加齢, 抗加齢 (アンチエイジング) や再生に関する学術雑誌を読み, 討論することで, 各著者の研究の進め方, データの解釈の仕方を習得し, この研究領域の最新情報の吸収と共に, 自分自身の研究レベルを高め, レベルの高い学術雑誌に投稿できるための基盤造りをする。		
【飯島 美夏】		
1) 食物繊維 (多糖類) と水の相互作用, ヒドロゲルの構造に関する国内外の学術論文を読み, 最新の研究動向を把握し, 各自の研究推進につながるよう討論する。		
2) ヒドロゲル等の食品の物性測定法に関する最新の測定法について情報収集し, 各自のサンプルへの活用法を討論する。		
【佐藤 伸】		
1) 分子栄養学的な最新情報や評価方法を理解するために, 糖尿病や高血圧などの発症機構や食品成分による生理調節機能に関する国内外の学術雑誌を読み, さらに, その内容を人前で発表することによりプレゼンテーション能力や結果の解釈を討議する能力を培う。		
2) 遺伝子やタンパク質の発現の評価に欠かせない手法および機器について学び, 理解を深めることにより, トータルとして各自の研究推進や研究論文の作成に役立てる。		
【井澤 弘美】		
1) 「毒物の毒性を低減する食品機能」、②「未利用資源を活用した食品開発」および③「必須栄養素を効率よく吸収・維持できる食品成分」に関する実験が述べられている国内外の論文を精読・討議し, 最新の研究動向や手技を学ぶ。		
3. 教科書、参考書		
・特に教科書は指定しない。各教員が資料を配布する。		
4. 成績評価方法		
・出席 (3 分の2 以上の出席) 及びレポート (60 点以上) で単位を認定する。		
5. 受講要件		
・特に無し。		
6. 社会人学生に対する配慮		

・特に無し。

7. その他

・特に無し。